

平成 30 年度 社会福祉法人 賀光会 賀光寮事業報告(案)

賀光寮は救護施設に施設種別を変更して9年が経過しました。

社会福祉法人制度改革が進むなか、賀光寮では、組織運営のガバナンスの向上はもとより、地域と利用者からより信頼される「賀光寮」を目指し、地域貢献を目的とした実践を重ねてまいりました。

地域における公益的な取り組みを積極的、継続的に行うため、藤井寺市社会福祉施設連絡会及び大阪府社会福祉協議会の「大阪しあわせネットワーク」の一員として、施設間連携と協働による生活困窮者支援を実施しました。その一環として、一時生活支援事業、中間的就労等を実施しました。

また、地域の保育所、小学校、こども会、自治会等への陶芸教室の実施協力、高齢家族等への環境整備等、地域に向けての貢献活動を行ないました。

利用者支援においては、法人の理念、基本方針に基づき、次のことを運営方針とし、利用者主体の質の高い総合的な福祉サービスの提供と作業科やクラブ活動の活性化に努めてまいりました。

平成 30 年度「賀光寮」運営方針

- I 総合的な福祉サービスの提供
- II 法令遵守
- III 専門性の向上
- IV 経営の安定、透明化
- V 地域共生と啓発

1 総合的な福祉サービスの提供

(1) 生活支援

個別支援計画に基づき、利用者の意向を重視した支援を効果的に行いました。

厚生年金受給資格の変更に伴い、今年度は、年金を受給できることになった3人の利用者に請求申請等の支援を行いました。受給開始後の福祉事務所への収入申告および利用料負担に係る支援を併せて行いました。

入所後に債務整理をしなければいけない2人の利用者に、法テラスまたは弁護士への相談、必要な書類申請等の支援を行いました。1人は、債務整理が終了し、過払い金の返還があるため、福祉事務所へ返還金の収入申告および利用料負担に係る支援を併せて行いました。後、1人の利用者は、債務整理に必要な支援を継続して行います。

ア 日常的な支援

作業、日常生活全般にわたる支援を行いました。

- ①生活支援 介助入浴、洗濯、清掃、買物などの支援を行いました。
- ②作業等 居室、作業室、食堂等を巡回し、特に心身に不調のある利用者を中心に、個々の状況を把握し、支援しました。

- ③夜勤支援 夜勤時間帯に定時巡回し、体調の把握等の支援をしました。
- ④通院支援 定期通院や緊急受診時の同行等の支援や入院している利用者の病状把握等を行いました。

イ 生活相談

毎月1回、生活上の悩みや相談のある利用者、意向を確認し、心理相談員による相談を利用させていただきました。4人の利用者に面談を実施しました。

ウ 理学療法

理学療法士によるグループまたは個別のプログラムを週3回提供し、日常生活機能の維持向上を図りました。計114回、延べ651人に実施しました。

昨年8月から開始した「集団体操」(テレビ体操、イス体操、ストレッチ運動等)は毎週金曜日に実施し、個別プログラムの利用者に加え運動不足の傾向がある利用者および活動性の乏しい利用者に参加を促しました。計33回、延べ155人が参加されました。

エ 居宅生活訓練事業及び保護施設通所事業による地域移行支援

地域移行を目指す利用者に生活技能の向上を目的とした支援を実施するとともに、地域移行にあたっては住居の確保や必要物品の購入など、必要な支援を行いました。

居宅生活訓練事業の参加者は、昨年度からの継続参加が3人、9月及び2月からの新規参加が各1人で、計5人の利用者に金銭出納、食事内容確認、栄養相談、健康相談や火の始末等の安全管理に関する支援を行いました。

保護施設通所事業は延べ5人の方が利用されました。前年度から継続の2人は、通所訓練と訪問指導を利用され、日中活動としてリフォーム科とライトワーク科及び七宝クラブに参加されました。5人のうち1人は、本年2月に地域移行し、保護施設通所事業の訪問指導の利用を始められました。

オ 食事

食事は生活の楽しみの一つであるため、嗜好調査を参考に献立を作成し、また、健康の維持増進を考慮し、次のことを重視して食事提供をしました。

- ① 障害の状況や病状に応じて献立を調整しました。
- ② 季節を感じ、美味しく食事をしていただけるよう、次表のイベント食などで献立に変化をつけました。
- ③ 給食委員会を毎月実施し、賀友会代表、栄養士及び支援課長が参加し、利用者の意見を献立に反映しました。
- ④ 嗜好調査を11月に実施し、そこでの意見を献立に反映しました。

【イベント食・行事食・おやつ】

月	イベント食	行事食	おやつ
4月	中華バイキング (鶏唐揚げ、春巻など)		シフォンケーキ
5月	筍ご飯と鰹のたたき 代替品:サイコロステーキ		ホットケーキ
6月	天ざるうどん	バーベキュー	抹茶小豆ケーキ 代替品:ぶどうゼリー
7月	うな井 代替品:焼肉井		バニラアイス クリーム
8月	ざるラーメン		ところてん 代替品:シュークリーム
9月	サイコロステーキ	災害備蓄食(中華丼) (大阪880万人訓練)	おはぎ 代替品:アップルパイ
10月	なし	巻き寿司 (バザール昼食)	芋ようかん 代替品:スイートポテト
11月	おでんバイキング		栗饅頭 代替品:プリンタルト
12月	クリスマスメニュー	五平餅、豚汁など (もちつき大会)	ロールケーキ
1月	すき焼き(一人鍋)		ぜんざい
2月	寄せ鍋(一人鍋)	回転寿司	ココア蒸しパン
3月	海鮮丼 代替品:焼肉丼		おはぎ 代替品:桃のタルト

【配慮食の状況】

配慮食の延べ人数 28人 平成31年3月31日現在

内 容	対象人数	内 容	対象人数
軟 飯	6	アレルギー食	6
減塩食	1	腎臓 透析食	3
糖尿食	1	きざみ食	11

【平成 30 年度栄養摂取目標量及び栄養摂取状況】

	熱量 Kcal	蛋白質 g	脂肪 g	カルシ ウム mg	鉄 mg	レチノ ール 当量	ビタミン B 1 mg	ビタミン B 2 mg	ビタミン C mg
基準量	2100	60.0	54.0	700	7.5	850	1.30	1.50	100
4 月	2072	67.2	52.2	553	7.3	585	0.91	1.03	82
5 月	2054	68.2	53.3	550	7.4	570	0.92	1.02	84
6 月	2037	67.2	51.4	548	7.4	562	0.89	0.98	82
7 月	2066	68.4	54.9	585	7.9	818	0.97	1.05	86
8 月	2024	66.8	50.8	544	7.6	690	0.91	1.10	82
9 月	1987	65.2	50.6	551	7.4	751	0.86	0.98	81
10 月	1990	64.8	49.5	542	7.2	651	0.89	1.08	90
11 月	2024	67.3	51.6	564	7.6	771	0.87	1.05	85
12 月	1991	65.9	51.2	528	7.1	639	0.88	0.99	85
1 月	2045	69.2	50.2	563	7.6	732	0.90	1.08	82
2 月	2003	66.3	49.6	555	7.5	774	0.90	1.03	81
3 月	1993	63.7	50.2	528	7.2	636	0.87	1.03	81
計	24286	800.2	615.5	6611	89.2	8179	10.8	12.42	1001
平均	2023	66.7	51.3	551	7.4	682	0.90	1.04	83

(基準量の±20%以内が適量) (レチノール活性当量=ビタミンA)

カ 健康管理

利用者の健康情報を全職員が共有し、福祉事務所、医療機関と連携して、健康管理、健康増進、感染症予防に努めました。

具体的な対策は次のとおりです。

- ① インフルエンザ予防接種（11月実施）
- ② 服薬管理支援
- ③ 健康診断（年2回）、歯科検診（年1回）
- ④ 通院・受診支援
- ⑤ 感染症対応

感染症が疑われる状況が発生した場合は、早期の受診、個室の利用など感染の拡大を防ぐための体制を整えました。

インフルエンザに1月に3人が罹患しました。感染を防ぐための上記の対応をとり、他者への感染の拡がりはありませんでした。

【賀光寮診療所の診察件数】（延べ 105 件）

平成 30 年度各月末日件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
診 察	13	8	8	6	7	8	9	10	9	9	11	7	105
(内服処方)	9	8	5	6	6	3	9	8	5	7	11	7	84
(外 用)	4	0	3	1	1	6	3	2	4	4	2	0	30
インフルエンザ 予 防 接 種								45					45

(3 人がインフルエンザ予防接種を拒否)

【健康診断】

平成 30 年度各末日人数（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受診人数						51						51	102

【歯科検診】

平成 30 年度各月末日人数（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受診人数				13									13

(希望者のみ受診)

【人工透析状況】

平成 30 年度各月末日人数（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
田仲はびきの クリニック(1人)	12	14	13	13	13	13	13	13	13	14	12	13	156
藤井寺敬任会 クリニック(3人)	36	42	39	39	39	39	39	39	39	42	36	39	468

【入院の状況】

平成 30 年度各月末日人数（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	1	0	3	3	4	1	0	3	2	0	1	2	20

【他医療機関受診状況】

平成30年度各月末日人数(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	十川クリニック	28	36	23	29	28	31	37	31	32	29	28	36	368
	中本クリニック	3	3	3	3	3	6	4	3	3	3	4	3	41
	藤井寺市民病院	0	1	0	5	4	2	3	12	15	10	12	12	76
	はびきの医療センター (呼吸器、循環器内科)	4	1	5	5	2	6	1	2	2	3	3	4	38
	はびきの医療センター (感染症内科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	城山病院(泌尿器内科)	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	6	0	11
	樫本病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	樫本クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	近大病院(呼吸器内科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岡記念病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
よしおか泌尿器内科	4	3	4	2	4	3	7	2	3	4	0	3	39	
外科	近大病院(整形外科)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	岩本整形(整形外科)	52	44	45	38	39	50	57	36	50	36	38	39	524
	青山病院(外科)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	城山病院(脳外科)	1	0	0	0	0	0	4	1	0	1	1	0	8
	田辺脳神経外科 (脳神経外科)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	藤本病院(外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	田仲北野田病院(外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	にしごり眼科(眼科)	3	5	0	4	3	4	2	5	4	4	4	3	41
	堀田眼科(眼科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今井眼科(眼科)	0	3	5	2	0	5	3	1	2	3	2	2	28
	はびきの医療センター (眼科)	2	0	2	2	1	1	0	1	1	1	3	1	15
耳鼻科	たかの耳鼻科	0	0	0	1	0	1	2	1	1	1	2	1	10
	近大病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮	久志本クリニック	0	0	0	2	0	0	0	2	2	1	0	0	7
歯	上杉歯科	5	4	5	4	5	3	5	6	8	4	10	8	67
精神科・ 診療内科	国分病院	3	3	4	2	2	3	3	7	4	4	4	2	41
	丹比荘病院	9	9	9	10	12	8	14	11	7	9	8	8	114
	林クリニック	2	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	13
	桐田心のクリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	梶本クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ながいクリニック	1	0	1	2	1	1	2	1	2	1	2	2	16
他	藤井寺保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	117	114	108	112	108	127	144	125	137	115	128	129	1464

キ 自治会活動

賀友会(利用者自治会)の定例会議を毎月開催し、行事や食事、健康管理、生活などの課題や要望等について話し合い、利用者の意見をサービス提供や行事等に反映しました。臨時開催を含め、計13回、述べ175人の利用者が参加しました。

ク レクリエーションの実施

利用者の意見を基に、レクリエーションを次表のとおり実施しました。

実施月	行 事	内 容
毎月	七宝クラブ	毎月第1、3月曜日に実施しました。ブローチやペンダントの製作を行いました。
毎月	寮内喫茶	月1回、コーヒー、紅茶、ジュース類、お菓子などを喫食し、利用者間の交流の場として実施しました。
毎月	誕 生 会	利用者個人の誕生日を祝うため、利用者の希望をもとに飲食店に行き、会食を行いました。6月生まれの方がいなかったため、年間で11回実施し、46人の利用者が参加されました。
4月	イベント湯①	季節の移り変わりを感じていただくため、通常の入浴日とは別に「さくら湯」を実施しました。
4月	花 見	季節感を味わうため、万博公園、石川河川敷コースに分かれて実施しました。2コース併せて26人が参加されました。
5月	イベント湯②	季節の移り変わりを感じていただくため、通常の入浴日とは別に「しょうぶ湯」を実施しました。
6月	行 事 食	食を楽しみ、食生活に変化をつけるため、ポプラと合同で「バーベキュー」を実施しました。
10月	賀 光 会 バザール	各作業科で作品の展示販売、リサイクル市などを行いました。終了後、会食を実施しました。
11月	救護施設合同 文化事業	音楽にあわせたダンスパフォーマンスの発表を行いました。展示の部で3年連続の最優秀賞をいただきました。
11月	日帰り旅行① 日帰り旅行②	生活に変化をつけるため、「箕面スパーガーデン(1班)」と「がんこ平野郷屋敷」へ日帰り旅行を行いました。それぞれ11人と10人が参加されました。
12月	イベント湯③	季節の移り変わりを感じていただくため、通常の入浴日とは別に「ゆず湯」を行いました。
12月	日帰り旅行③ 日帰り旅行④	生活に変化をつけるため、「カニ道楽ツアー」と「箕面スパーガーデンコース(2班)」を実施し、それぞれ10人の利用者が参加されました。
12月	もちつき	季節を味わい、交流を深めるため、ボランティアの参加を得て、寮内で餅つきを実施しました。
12月	年 忘 れ 会	救護施設合同文化事業で行ったダンスパフォーマンスの映像上映とビンゴゲームを実施し、寿司、揚げもの等で会食をしました。
2月	行 事 食	食を楽しみ、食生活に変化をつけるため、寮内で「回転寿司」を実施しました。

ケ 災害対策

6月に昼間の火災を想定し、避難消防訓練を消防署立会いのうえ実施しました。

9月に大阪府が主催する「大阪 880 万人訓練」にあわせて防災訓練を実施する予定でしたが、台風第 21 号の影響で府内各地域に被害が発生したことから大阪府が訓練中止を発表したため、訓練の日程を延期しました。当日は、備蓄食品の賞味期限の確認と備蓄食の炊き出し訓練のみを行いました。

簡易テント、発電機、ヘルメット等の防災機器の点検を 11 月に実施し、また、延期となった防災訓練は、平成 31 年 1 月に実施しました。

コ 環境衛生

寮内を清潔に保つために入浴設備、トイレ、居室、廊下、手すりなどを、マニュアルに沿って日常の清掃をしました。

シーツ交換日（2週間に1回）には居室等の床を塩素系薬品で消毒しました。30年度は24回行いました。

(2) 作業支援

利用者に自信をもたらす社会参加を促進する為に作業支援を実施しました。

利用者の個別支援計画に基づき、障害特性と医療的状况に配慮して行いました。

【作業科目別人員】

平成 31 年 3 月 31 日現在(単位：人)

	陶芸	農園芸	環境整備	OA	洋服リフォーム	ライトワーク	所属なし	合計
入所	7	6	7	1	1	6	30	58
保護施設通所事業	0	1	1	0	1	1	0	4
賀光寮作業科ボランティア	0	2	2	0	0	0	0	4

※陶芸と農園芸の両方の科に所属している利用者 1 人

陶芸と環境整備の両方の科に所属している利用者 1 人

農園芸と環境整備の両方の科に所属している利用者 5 人

農園芸と環境整備と洋服リフォームの 3 つの科に所属している利用者 1 人(通所)

【作業科別売上】

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日(単位：円)

作業科目	内容	売上額
陶芸	干支の土鈴等作成、陶芸教室開催	264,300
農園芸・環境整備	野菜・果樹の育成、樹木の消毒・剪定	505,010
OA	パソコンによる文書作成	18,680
リフォーム	ズボンなどの裾あげや雑巾等製作	45,500
ライトワーク	小さな段ボール箱組立等	319,438
七宝(クラブ活動)	七宝工芸作品の制作(バザー売上)	19,700
	合計	1,172,628

2 法令遵守

(1) 個人情報保護

利用者の個人情報は個人情報保護規程を遵守しました。

マイナンバーの使用に関連し、関係機関への情報提供を利用者の同意を得て、1回行いました。

(2) 身体拘束・虐待の禁止

運営管理規程と行動規範に基づいて、利用者への安心・安全なサービス提供に努めました。

(3) コンプライアンス自己チェック

理念・倫理綱領・行動規範による自己チェックを実施し、職員の人権尊重、コンプライアンスへの意識向上を図りました。

3 専門性の向上

(1) 職員研修

職員の資質を向上し、サービスの質を高めるために、職域内研修と職域外研修を行いました。

【職域外研修】(101件)

研修内容	回数	参加人数
基礎（障がい者高齢者支援、初任者研修等）	3	3人
人権（社協や大阪府、全救協主催の人権・虐待防止研修等）	10	24人
地域（藤井寺福祉施設連絡会定例会議、研修会への参加等）	17	36人
医療（感染症対策、食中毒予防、看護師研修等）	4	6人
栄養（栄養士調理師、味覚障害、食物アレルギー研修等）	5	5人
運営（管理運営・経営者セミナー、経理研修、幹部職員研修など）	50	77人
その他（社会福祉実習対応、刑余者支援、他施設交流等）	12	21人

【職域内研修】（5件）

研修内容	延べ参加人数
理念研修（7月）	16人
採用時研修（3月）	1人
交通安全講習（11月）	16人
感染症・食中毒予防対策（12月）	17人
人権研修（1月）	16人

(2) サービスの質の向上

利用者個々の支援についての検討、職員間の情報共有、支援の標準化、業務改善等を目的に、支援会議を月に2回または3回、計25回実施しました。

サービスの質の向上を図るために、利用者に顧客満足度調査を実施しました。また、法人理念、職員倫理綱領に関する職員個々の自己チェックを行い、コンプライアンス、人権尊重、虐待防止への職員の意識と資質向上を図りました。

(3) 苦情解決

苦情・要望については、ホームページで公表し、苦情解決システムの適切な活用を図るとともに、第三者委員による巡回相談や心理相談員による生活相談の機会の提供を行いました。

また、苦情をニーズとして受け止め、サービスの質の向上に努めました。

(4) リスク管理

危機管理マニュアルに基づき、ヒヤリハット15件(薬の落下、誤薬、転倒、無断外出他)、事故報告22件(誤薬、転倒、無断外出、暴力他)の内容を毎月の職員会議で報告し、更にその発生がどうして起きたのか、どうすれば防げたのかを検証し再発の防止に努めました。

4 経営の安定、透明化

経営安定のため、福祉事務所、関連病院及び地域生活支援センター等の関連機関と連携し、入所定員を充足するように努めました。刑余者2人の入所支援を行い、可能な限り緊急一時入所及び一時生活支援事業に対応し、それぞれ7人及び2人を受け入れました。

経営情報を賀光寮の広報誌とホームページ及び全国経営協ホームページに公開して透明性を図りました。

5 地域共生と情報発信

(1) 社会貢献

地域福祉に貢献するため公益的な取組等を行いました。

ア 生活困窮者等の支援のための相談窓口の設置を行いました。

イ 「大阪しあわせネットワーク」による生活困窮者への支援事業を実施しました。

ウ 藤井寺市社会福祉施設連絡会での施設間協働による地域貢献活動をしました。

(2) 地域貢献

ア 地元自治会の「南藤井寺ふれあいまつり」に実行委員として参加しました。

イ 緊急災害避難場所として地域開放を用意しました。震災等の災害時に、避難場所として地域の方々に貢献するための備品、食糧等を準備しました。備蓄食は、120人分のうち20人分(3食×20人×3日=180食)を地域の方向けに準備しています。

ウ 社会福祉現場実習、介護等体験の受け入れを次表のとおり行いました。

【社会福祉現場実習】

	0人
--	----

【介護等体験】

大谷大学	延べ40人（8人×1週間5日）
------	-----------------

オ 地域の要請に応え、次のとおり陶芸教室を行いました。

団 体 名	回数	人数
藤井寺市立藤井寺西小学校	1	62
藤井寺市立道明寺東幼稚園	1	17
藤井寺市立藤井寺西幼稚園	1	22
藤井寺市立藤井寺第1保育所	1	28
藤井寺市立道明寺こども園	1	24
藤井寺市立藤井寺第3保育所	1	30
藤井寺市立藤井寺第4保育所	1	19
藤井寺市立藤井寺第5保育所	1	20
藤井寺市立藤井寺第6保育所	1	15
(福)種の会 ななこども園	1	28
(福)神愛福祉会 ラミー保育園	1	11
(福)飛笑 障害者地域生活支援センター わっと	2	28
まめの木こども会	1	17
賀光寮内陶芸教室	16	57
合 計	30	378

(3) 地域交流

地域の一員として、交流を促進するとともに地域福祉の向上を図りました。

ア ボランティアの受け入れを次表のとおり行いました。

【ボランティア】(年間延べ2,882人)

陶芸作業	延べ425人
農園芸作業	延べ2,421人
賀光会バザール	21人
もちつき大会	15人

ウ 賀光会バザールを10月に開催しました。

エ 地域と協働したもちつき大会を12月に実施しました。

オ 「パープル&社協フェスタ」(藤井寺市社会福祉協議会主催)、「南藤井寺ふれあい祭り」(南藤井寺地区主催)等の地域行事に藤井寺市社会福祉連絡会や地元町会と連携し、参加をしました。

(4) 広報活動、

ア 広報誌「きずな」を賀光会として年3回発行しました。利用者、関係機関、理事・監事・評議員、行政、ボランティア、地域住民、賀光寮退所者、利用者家族、職員へ、年間約900部発行し、経営情報の掲載及び行事や日常的活動の紹介をしました。

イ 賀光会ホームページを12月、2月に更新し、施設の話題を発信しました。

ウ 「パープル&社協フェスタ」(藤井寺市社会福祉協議会主催)、「南藤井寺ふれあい祭り」(南藤井寺地区主催)等の地域の行事に参加し、施設の広報を行いました。

6 統計

(1) 年度末在籍者人員 (一時入所を含む) 3月31日現在 (単位:人)

		平成29年度	平成30年度
介護施設入所		47	51
(居宅生活訓練)		(3)	(3)
通所事業	通所	3	2
	訪問	3	3

(2) 月別在籍者数 (月末人数) (単位:人)

29年度(平均入所者数47.5人)		30年度(平均入所者数51.3人)	
月	入所者数	月	入所者数
4月	52	4月	48
5月	50	5月	48
6月	49	6月	49
7月	49	7月	51
8月	47	8月	53
9月	44	9月	52
10月	45	10月	53
11月	47	11月	53
12月	46	12月	53
1月	46	1月	53
2月	48	2月	52
3月	47	3月	51

(3) 年齢構成 (平均年齢 63.5歳) 平成31年3月31日現在 (単位:人)

	年齢階層別								合計
	29以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80以上	
人数	0	2	3	11	9	12	10	4	51

(4) 障がい別人数 平成 31 年 3 月 31 日現在 (単位:人)

障 害	身体障がい							他の障がい		合 計 (内重複障害)
	音声言語	視覚	心臓	腎臓	呼吸器	直腸	肢体	知的	精神	
人数	1	2	4	4	3	1	6	4	18	43(3)

(5) 入所期間 平成 31 年 3 月 31 日現在 (単位:人)

入所期間	1年未満	1～2年	2～3年	3～5年	5年以上	合 計
人 数	7	6	7	4	27	51

(6) 入退所の状況 (一時入所の入退所含む) 4 月 1 日～3 月 31 日 (単位:人)

29 年度		30 年度	
入所	退所	入所	退所
7	10	10	6

(7) 退所者の内訳 4 月 1 日～3 月 31 日 (単位:人)

	入院	帰宅	施設変更	地域生活	就職	病死	合計
30 年度	2	0	1	2	0	1	6
29 年度	4	0	1	2	0	3	10

(8) 措置機関別のべ利用者数 (合計 51 人) 平成 31 年 3 月 31 日現在 (単位:人)

措置機関	人数	措置機関	人数	措置機関	人数	措置機関	人数
大阪市	10	茨木市	9	枚方市	4	門真市	0
堺市	0	交野市	3	高石市	1	富田林市	0
東大阪東	3	柏原市	1	吹田市	0	大阪府	0
東大阪西	1	摂津市	1	羽曳野市	2	淡路市	1
藤井寺市	10	河内長野市	2	豊中市	1	袋井市	1

※自費入所の方は 1 人です。

(9) 公益的事業の実施

事 業	回数・人数
相談支援事業	43 件
しあわせネットワーク	2 人
藤井寺市施設連絡会	6 回・13 人
緊急一時入所	7 人
一時生活支援事業	2 人
生活困窮者就労訓練事業	なし